

21世紀型学力をどう育むか

「探究」

「協同」

## 総合的な学習の時間の進化で 学校改革へ



皆さんの学校では「総合的な学習の時間」はどのように取り組まれているでしょうか？  
創設された当初、戸惑いの声が多かったと聞きます。  
しかし、2009年の学習指導要領の改訂を機に、SSHやSGHをはじめ、意欲的に取り組んでいる学校は少なくないのではないでしょうか。

昨年12月末に発表された中央教育審議会の答申。  
新しい入試やアクティブ・ラーニングに話題が集中していますが、「総合的な学習の時間」について一層の充実に向けた見直しが明記されています。  
自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、そして主体的に判断し、解決していこうとする力。  
「総合的な学習の時間」の進化こそが、教科学習の二層の充実と、学校改革をもたらすと、今回の取材を通じて感じています。

では「総合的な学習の時間」にどう取り組めばよいか。  
今回、6校の実践事例とインタビューに加え、実践して来られたお二人の先生方のお力をお借りして、各学校で協議・取り組んでいたためのフレームワークを開発していただきました。  
変化が求められる今こそ、「総合的な学習の時間」をデザインしていただければと願っています。

山下真司(本誌 編集長)